

10. 300系統から311系統

系統番号	起点	途中経由地	終点	担当営業所	共同運行	運行頻度	備考
300	新横浜駅前	横浜労災病院、新開橋、新栄高校南口	仲町台駅	港北		C	土曜、休日は頻度B
	新横浜駅前	鳥山大橋、新開橋、新栄高校南口	仲町台駅	港北		C	始発便及び深夜時間帯のみの運行
300系統解説	市営地下鉄新横浜～あざみ野開通以前は新横浜駅前～江田駅を結ぶ港北ニュータウン地区の大動脈路線でした。しかし、地下鉄あざみ野開業後はセンター南駅発着に変更されました。同時に運行本数も削減され、地下鉄では行きにくい横浜労災病院周辺の足となる路線になりました。かつての大動脈路線は大赤字路線に転落し、2006年1月30日に仲町台駅～センター南駅間が廃止となり、新横浜駅～港北インター～仲町台駅の運行となりました。その後も赤字が続き廃止対象路線となりましたが、補助金交付対象路線となりとりあえず横浜市営バスが継続して運行する予定です。						
301	江田駅	都筑ふれあいの丘、向原	仲町台駅	港北ニュータウン		B	深夜バス運行
	江田駅	荏田南、中の瀬	センター南駅	港北ニュータウン	東急	B	年末年始運休
	江田駅	荏田南、大丸	港北ニュータウン車庫	港北ニュータウン		IC	
301系統解説	301系統は地下鉄開業前は江田駅と市が尾駅を結ぶ路線でしたが、地下鉄あざみ野開業にあわせて元の300系統のうち江田駅～仲町台駅間をこの系統が名乗ることになりました。子系統として、荏田南、中の瀬経由でセンター南駅に行く系統、港北ニュータウン車庫への出入用の系統があります。						
302	港北ニュータウン車庫	都筑ふれあいの丘、仲町台駅、新栄高校前、港北工業団地、新北川橋、北山田、センター北駅	港北ニュータウン車庫	港北ニュータウン	東急	DC	日中のみ運行
	港北ニュータウン車庫	都筑ふれあいの丘、仲町台駅、新栄高校前、港北工業団地、新北川橋、北山田	センター北駅	港北ニュータウン	東急	IC	平日、土曜の朝1本のみ運行
	港北ニュータウン車庫	都筑ふれあいの丘、仲町台駅、新栄高校前、港北工業団地	新北川橋	港北ニュータウン		IRC	朝1往復のみ運行
	港北ニュータウン車庫	都筑ふれあいの丘	仲町台駅	港北ニュータウン		IC	出入り便兼用
	仲町台駅	港北工業団地、新北川橋、北山田	センター北駅	港北ニュータウン	東急	RC	朝、夕のみ運行
	仲町台駅	新栄高校前、港北工業団地	新北川橋	港北ニュータウン		RB	
	新北川橋	のちめ不動、北山田	センター北駅	港北ニュータウン	東急	RB	
302系統解説	このバスの場合は地下鉄開業前は新横浜駅から北川橋南(後に研究所前)線として開通しました。その後、研究所前までのび、また一部は現在のセンター北駅、南駅の前を通り、港北ニュータウン車庫まで行く便も出来ました。もともとは港北営業所の担当路線で、港北ニュータウン車庫に港北営業所のバスが乗り入れていました。地下鉄あざみ野開業後は新横浜駅～港北ニュータウン車庫間の路線を継承するような形で港北ニュータウン車庫からセンター南駅、北駅、北山田、新北川橋、新栄高校、仲町台駅、都筑ふれあいの丘を回る大きな循環線となりました。もっとも、循環をするバスは日中の8本のみで、朝夕は北川橋南を分岐点として仲町台駅、センター北駅間の区間運転がメインとなります。						

10. 300系統から311系統

系統番号	起点	途中経由地	終点	担当営業所	共同運行	運行頻度	備考
303	センター南駅	中丸、仲町台駅、新栄高校前、港北工業団地	新北川橋	港北		RC	早朝～朝、夕～夜間に運行
	センター南駅	中丸、北原橋、新栄高校前、港北工業団地	センター南駅	港北		DC	日中のみ運行
303系統解説	今でこそ、あまり面白みのない路線となってしまいましたが、新設当時は新横浜駅から大倉山駅、新羽町、新栄高校前、大原、茅ヶ崎新道を経て北山田に行く長距離路線でした。東急バスとの乗り入れ、一部区間は東急バスのバス停を使う区間がありました。北山田は東急バスの鷺沼駅～すみれが丘線の終点、すみれが丘のすぐ近くです。今でこそ、あざみ野から北山田を経て綱島方面に抜ける立派な道路が出ていますが、この系統が出来た当初は道路もろくに整備されておらず、雨の時などは地面がぐちゃぐちゃになるような所でした。その後、路線は2つ先の研究所前まで延び、地下鉄のあざみ野開業時にも路線は存続しました。地下鉄の開業時に子系統としてセンター南駅から北原橋、新栄高校経由の新北川橋行きが新設されました(当初は港北ニュータウン営業所担当)。やがて、新横浜駅～研究所前系統が廃止となり、今のような陣容になりました。現在では港北営業所が路線を担当し、朝夕のみ仲町台駅にも顔						
304	センター南駅	みずきが丘、折田公園前	江田駅	港北 ニュータウン		C	
304系統解説	新設当時は江田駅から北川橋南という路線でした。北川橋南というバス停は第3京浜沿いにあるバス停です。江田駅から当初はみずきが丘、北原経由のみでしたが、やがて池田、中の瀬経由が出来、それぞれが30分に1本の割合で運転されていました。地下鉄開業にあわせて江田駅からセンター南駅(みずきが丘経由)に変更され、現在に至っています。港北ニュータウン地区は地下鉄のあざみ野開業により、地下鉄の駅へのアクセスはよくなりましたが、JRや東急の駅には行きにくくなったところが多くなっています。						
305	市が尾駅	川和高校入口、見花山、川和中学校前、石橋	中山駅北口	緑		C	市が尾駅～石橋間は頻度B
	市が尾駅	川和高校入口、見花山、川和中学校前	石橋	緑		B	深夜バス運行
305系統解説	この系統は地下鉄の駅とは基本的に関係のないルートを走っているため、ルート自体は開業時とさほど変わっていません。運行開始当時は緑営業所の所管で、その後港北ニュータウン営業所の設置に伴い移管されました。市が尾駅から泉田向、高山、そこで右折して夕焼け橋、川和富士公園のところで左折し、川和中学校、石橋を抜けて貝の坂、中山駅北口に至る路線が基本ルートです。運行開始直後は先行投資的な意味合いが強く、運行本数も大変少なく特に石橋～中山駅北口間は出入便のみの運行でした。その後、周辺の発展に伴い運転本数も飛躍的に増加しました。しかし、現在でもメインは市が尾駅から石橋間です。港北ニュータウン営業所担当時は港北ニュータウン車庫発着便があり、特に市が尾駅発瑞雲寺前経由の港北ニュータウン車庫行は奇妙な路線で通常の路線と同じく石橋、貝の坂まで行き、その先川和町方面に直進し、瑞雲寺前で右折、再度川和富士公園入口、夕焼け橋、高山、川和高校入口を経て港北ニュータウン車庫に行く路線でした。2007年3月に港北ニュータウン営業所廃止を前提としたダイヤ改正で緑営業所へ移管され、港北ニュータウン車庫関係の子系統が廃止され、市が尾駅～中山駅北口間のシンプルな運行となりました。また、川和富士公園入口～瑞雲寺前～貝の坂間を走る305系統は廃止となりました。						
306	市が尾駅	泉田向、川和高校入口、見花山、中の瀬	センター南駅	緑		B	

10. 300系統から311系統

系統番号	起点	途中経由地	終点	担当営業所	共同運行	運行頻度	備考
306系統 解説	地下鉄開業前は東急バスとの乗り入れで市が尾駅～あざみ野駅を結ぶ路線でした。東急バスは虹ヶ丘営業所が担当したので、一時期は港北ニュータウン地区や市が尾駅周辺で川崎ナンバーの東急バスを見ることが出来ました(現在は43系統移管の市43系統を虹ヶ丘営業所で担当しているため市が尾駅周辺では再び見られません)。地下鉄のあざみ野開業と同時に乗り入れは解消され、センター南駅止まりとなりました。また、それまでは301系統の扱いであった往田南行きや往田南行きの深夜バス(現在は石橋行に変更)、及び市が尾駅から港北ニュータウン車庫への出入り線なども306系統の管轄となりました(実際は市が尾駅発の出入り線は系統番号を出しませんでした)。現在ではセンター南駅から港北ニュータウン車庫への出入り便も306系統の扱いとなっていました。2007年3月の港北ニュータウン営業所廃止を前提としたダイヤ改正で緑営業所へ移管され、港北ニュータウン車庫関連の子系統は廃止となりました。						
307							
307系統 解説	もともとは市が尾駅～道中坂下という路線で、東急バスとの乗り入れ路線でした。地下鉄あざみ野開業に伴い、センター南駅～道中坂下間の運行に変更されました。平日と土曜日に6往復運行されていたことが、2000年3月一杯で廃止となりました。						
308	センター南駅	北部病院、二の丸、星ヶ谷、天満宮、長福寺	仲町台駅	港北		C	小型車運行
308系統 解説	もともとは新横浜駅からあざみ野駅という路線でした。地下鉄の延伸開業区間とかなりの区間併走するため地下鉄あざみ野開業と同時に廃止となりました。そしてその後、センター南駅と仲町台駅を結ぶ路線として復活しました。当初センター南駅を出て、都筑ふれあいの丘を経由し、向原バス停前で右折、星ヶ谷でさらに左折して独自区間に入って行く路線でした。独自区間の星ヶ谷～長福寺前間は道幅が狭く、この路線は小型専用車による運行となっていました。2003年6月に路線の変更が行われ、センター南駅～星ヶ谷間は北部病院、大丸、二の丸、原庭経由となりました。また、2006年1月30日から担当が港北営業所に変更となりました。						
309							
309系統 解説	地下鉄あざみ野開業前までは市が尾駅から都築ふれあいの丘、港北インター経由の新横浜駅行として走っていました。しかし、地下鉄開業にあわせて廃止となりました。これにより、港北インター～新横浜駅間から港北ニュータウン営業所のバスは見られなくなってしまいました。なお、市が尾駅～新横浜駅間のバスは3系統があるのでこの2駅を乗り換えなしで移動することは可能です。						
310	センター南駅	中の瀬、川和中学校前、石橋	ららぽーと横浜	緑		B	運行間隔は124系統を含めてのもの
	センター南駅	中の瀬、川和中学校前	石橋	緑		AB	早朝～朝と夜間に一部運行 運行間隔は平日朝方のもの
	センター南駅	中の瀬、瑞雲寺前、石橋、梅田橋	仲町台駅	緑		DC	日中のみ運行
310系統 解説	こちらは地下鉄あざみ野開業と同時に出来た路線です。当初はセンター南駅からどの便も川和中学校経由で運行されていたことが、その後仲町台駅行きのバスのみ瑞雲寺前へ出て貝の坂経由となりました。瑞雲寺前～石橋間の地下鉄駅へのアクセス確保のためでしょうか…(実際には73、80系統があります)。仲町台駅線は瑞雲寺前から新開橋までは95系統と同一ルートを取り、新開橋で左折して仲町台駅に向かいます。2007年3月のららぽーと横浜開業に際し、緑営業所へ移管の上石橋発着便の多くがららぽーと横浜まで延長となりました。同時に124系統も延長となり、センター南駅～川和中学校前～石橋～ららぽーと横浜間は笹山団地発着便が124系統、ららぽーと横浜及び石橋発着が310系統という奇妙な関係になりました(14系統、104系統と同じような関係)。						
311							

10. 300系統から311系統

系統番号	起点	途中経由地	終点	担当営業所	共同運行	運行頻度	備考
311系統 解説	市営地下鉄の延伸に伴って部分的に廃止となってしまった306系統のうち、あざみ野駅～センター南駅間を一時期この系統番号をつけていたバスが走っていました。あざみ野駅はこのバス専用新たにバス停を従来のバスターミナルの反対側に作ったのですが、一日中のみわずか8本という寂しい運行でした。そして早々に廃止となってしまいました。なお、あざみ野駅のバス停は現在は33系統が使用しています。ちなみに、311系統の廃止で市営地下鉄中川駅の前を走る市営バスがなくなってしまいました。						